

卓越した技能者(現代の名工)

全鍍連 歴代被表彰者一覧

全鍍連推薦:27名

他団体推薦:33名

| 年度    | 会社名         | 氏名    | 組合     | 推薦  | 功績   |
|-------|-------------|-------|--------|-----|--|
| 令和6年度 | 光鍍金工業(株)    | 内田 悦美 | 東京     | 全鍍連 | 電気めっき工として約四〇年従事し、記念メダルをはじめ記章等の装飾品に対するめっき加工に関し優れた技能を有している。顧客の厳しい美観要求に応えるため、めっき技能と併せて長年培われた研磨加工・サンドブラスト加工・古美加工等の複数の技能を総合的に駆使し、氏の経験と知見から他のめっき工では再現が困難な、付加価値の極めて高い加工を顧客に提供し続けている。また技能検定委員を務める傍ら、古美技能者への技能継承にも注力しており、後進技能者の育成にも余念がない。       |
| 令和6年度 | 太陽電化工業(株)   | 伊藤 亮  | 愛知     | 愛知県 | めっき加工に関する知識、技能に卓越し、めっき処理のより良い工程の開発や生産性向上を実現している。めっき加工は、金属やめっきの種類ごとに、薬剤、濃度、温度、浸透時間といった設定が異なるため、複数のラインでの非効率な作業となってしまうところを、氏が工程管理を行い、複数の金属を用いためっき加工について、ラインの一本化を成し遂げている。また「ものづくりマイスター」として、県内外で後進への指導を行い、ノウハウや技能を惜しみなく伝承している。              |
| 令和5年度 | スズキハイテック(株) | 三澤 孝夫 | 東北・北海道 | 全鍍連 | 三九年間にわたるめっき工としての知見と経験を豊富に有しており、エレクトロニクスに関するめっき技能に卓越している。とりわけ半導体分野・医療分野・自動運転分野及び航空宇宙分野など今後の社会的なニーズを解決するための最先端のめっき作業に従事し、幅広い産業の発展に著しく貢献した。また優れた技能を次世代へ伝承するため、ダイバーシティ経営を理念とする社風の下、日本人社員のみならず、多くの外国人社員、技能実習生の指導に熱心に取り組むなど、後進技能者の育成に邁進している。 |
| 令和5年度 | (株)アサヒメッキ   | 川見 和嘉 | 中国     | 鳥取県 | めっきの表面処理の新技術開発において卓越した技能を有する。環境にやさしい薬品を使用したアルマイト工法(アルミニウムの表面処理)を開発した。また、量産性・耐久性の高いステンレス化学発色処理技法を開発して、国内、国際特許を取得し、建材・自動車分野等を中心にステンレスのデザイン性を向上させるなど、技術革新に大きく貢献した。社内外のめっき技能士の育成・指導のほか、近隣の金属・機械加工メーカーに対し実技指導や講演を積極的に行うなど、後進の育成にも尽力している。    |
| 令和4年度 | 京王電化工業(株)   | 山本 豊  | 東京     | 全鍍連 | マグネシウム合金など組成に偏りのある難素材へのめっきの技能に卓越しており、膜厚約一〇 $\mu$ mで耐食性のあるめっき皮膜を安定的に生成させることに成功し、医療機器やロボットの軽量化に著しく貢献している。また、三価クロムのバレルめっき装置を考案し、膜厚約〇.一 $\mu$ mのめっき加工の量産化を実現させ、電子部品の生産性向上に著しく貢献した。自身の知見と技能を伝承すべく、国内だけでなく海外も含めて、後進技能者の指導育成に積極的に携わっている。      |

| 年度    | 会社名            | 氏名     | 組合     | 推薦  | 功績   |
|-------|----------------|--------|--------|-----|--|
| 令和4年度 | 清川メッキ工業(株)     | 清川 肇   | 福井     | 福井県 | 微小部品・部材への接合めっき技能に卓越し、その技能による多くの考案は、携帯電話やアイロンといった生活用品から自動車・航空機関連の重要保安部品、内視鏡下外科手術用の医療機器など世界中で使用されている。それらの製品の数々の量産を立ち上げ、幾多の考案の改善を行い、生産効率の向上、安全衛生等に寄与し、後進技術者の育成・指導にも貢献しており、産業界における貢献が大きい。  |
| 令和4年度 | (株)九州電化        | 吉村 浩司  | 九州     | 福岡県 | 電気めっきに留まらず、化学めっきや陽極酸化処理等、めっき加工のオールラウンダーであり、技術開発と分析技能に卓越している。これら技能により、重粒子線ガン治療装置の普及(めっきによる低価格化、小型化)、めっきによる高炉の長寿命化、液化水素運搬船の実証実験(大物GFRP部材へのめっき)等に大きく貢献し、ものづくり日本大賞では三回の受賞を誇る。また、技能検定員を十五年間務め上げたほか、後進技能者の育成にも積極的に携わり、現在も多くのめっき技能士を輩出している。 |
| 令和3年度 | (株)エム・ティ・アイ    | 齊藤 伸寿  | 東北・北海道 | 全鍍連 | 電気めっき工として、リードフレーム用めっき製造装置の開発を手掛け省人化に成功し、国内半導体製造の生産性向上に著しく貢献した。また合金アルミ素材をはじめとする難素材へのめっき加工にも卓越した技能を有しており、医療機器から先端ロボット部品に至るまで、公設機関と連携しながら高付加価値めっき皮膜を世の中に提供し続けている。自身の知見と技能を伝承すべく、後進技能者の指導育成にも積極的に携わっている。                                 |
| 令和3年度 | (株)オジックテクノロジーズ | 安田 敬一郎 | 九州     | 熊本県 | 電気めっき加工や電解研磨加工、電鍍加工などの表面処理加工及び表面解析において優れた技能を発揮し、特に電解研磨処理技術、pbフリーはんだめっき技術、電子部品難めっき素材、微細めっき加工技術等の分野においては特許を取得し、半導体産業、MEMS産業、分析装置産業、地球環境の改善及び熱マネジメントの解決に大きく貢献している。また、技能検定委員として委嘱を受けているほか、社内外の技術者や学生を対象に講習会を開くなど、後進の指導育成にも尽力している。        |
| 令和2年度 | 三共鍍金(株)        | 荻宿 充久  | 東京     | 全鍍連 | 硝子製品成型用金型の再生めっきに不可欠な剥離技術、特殊専用治具製作技術、めっき技術に秀でており、高温環境下においてもクラックの生じない硬質クロムめっきを実現させた。この技能により金型の離型性及び寿命が向上し、ジョッキグラスをはじめとする硝子工業製品の安定生産に著しく寄与した。自身の優れた技能を伝承すべく、技能検定員や職業訓練校を通じて、後進技能者の指導育成に積極的に携わっている。                                      |

| 年度     | 会社名               | 氏名    | 組合         | 推薦  | 功績   |
|--------|-------------------|-------|------------|-----|--|
| 令和元年度  | 墨田硬質クローム<br>鍍金(有) | 石崎 利一 | 東京         | 全鍍連 | 高精度が要求されるゴム部品用金型への硬質クロムめっきに関して高い技能を有している。とりわけ、微細で複雑な形状を持つ素材に対して、精巧なめっき治具を駆使し、通常めっき膜厚(二〇 $\mu$ 前後)よりも極めて薄い膜厚(二～五 $\mu$ )にて、硬質クロムめっきを均一に付与させる技能に卓越している。この技能により、金型の耐食性・耐摩耗性の向上及びゴム成型時の離型時間の短縮を同時に実現し、金型の高寿命化及びゴム部品の生産性向上に著しく貢献した。 |
| 令和元年度  | 清川メッキ工業(株)        | 清川 敏男 | 福井         | 福井県 | 無電解めっきによる接合技術開発・製造に長年従事し、卓越した技能を有している。当人が確立した様々な工法は、携帯電話やコンピューター用のプリント基板の大量生産・標準化を実現し、現在ではハイブリッド車のモーター制御をはじめとする多くの電子機器で使用する半導体のめっき処理に適用され、業界の発展に大きく寄与している。また、後進への指導に加え、当人が持つ技能のデジタル化により技能継承に貢献している。                            |
| 平成30年度 | (株)野村鍍金           | 石田 幸平 | 大阪         | 全鍍連 | 製鉄用連続鋳造金型への合金めっきに卓越した技能を有している。長年の現場経験とめっきに関する高度な知見から、特殊専用治具を考案し合金組成比率を制御したまま約2.5 $m^2$ にも及ぶ巨大金型部品にコバルト・ニッケル合金めっき(皮膜3mm)を付与することを可能にしている。氏の技能により鋳造金型の耐食性、耐摩耗性が飛躍的に改善され、国内鉄鋼メーカーの生産性を20%以上向上させ、日本の国際競争力強化に著しく寄与した。                |
| 平成29年度 | 神谷電化工業(株)         | 神谷 博行 | 東京         | 全鍍連 | 50年以上にわたりめっき作業に従事し、幅約5mにも及ぶ大型形状の品物やチタンなど難素材に対する装飾クロムめっき加工を施す技能に優れている。また、緻密な治具製作や高度な剥離技能による再生めっき加工など卓越した技能を有している。これまで自動車パーツから寺社文化財に至るまで、様々な製品に対し高付加価値のめっき加工を施してきた。現在は後進の技能伝承に傾注すると同時に展示会等を通じめっきの魅力を精力的に伝え続けている。                 |
| 平成28年度 | 旭産業(株)            | 小杉 亮  | 神奈川        | 全鍍連 | 量産対応のため業界内で機械化が主流になる中、手作業によるめっき技術に秀でており、特に特殊マスキング処理や均一にめっきを施すために欠かせない治具・補助陽極の作成に卓越した技能を有している。その技能を生かし酒造や電子部品など、幅広い産業から依頼が寄せられており、絶えず高品質なめっき製品を世に送り続けている。また技能検定委員として長年従事しており、後進技能者の指導・育成に余念がない。                                 |
| 平成27年度 | ジャスト(株)           | 今野 高志 | 東北・<br>北海道 | 全鍍連 | コストや人手の負担となっていたステンレスナット内面の手作業による部分めっきに対し、通電システムと液漏れ防止対策を施した特殊治具を考案し、量産化に成功した。その特殊技能を試作・実験により発展させ、これまでになかったダイヤモンド特殊電着技能を編み出し、微細化・量産化に成功した。現在、実作業の傍ら後進の指導・技能伝継に尽力している。   |

| 年度     | 会社名       | 氏名    | 組合     | 推薦  | 功績  |
|--------|-----------|-------|--------|-----|---|
| 平成26年度 | (株)ユニゾーン  | 橋本 保  | 富山     | 全鍍連 | 50年以上にわたり数多くのめっき作業に従事し、培った知識と卓越した技能を駆使し難めっきとされる微粉末上へのめっきを成功させた。また、創意工夫を常に怠らず、非導電性素材へのめっき技術を地元(富山)のガラス工芸と融合させることにより、新たな芸術世界の礎を築いた。社内では品質管理意識の向上や手作業を中心とするめっき技能の承継に惜しみない努力を注ぎ、後進の指導・育成に貢献した。  |
| 平成25年度 | (株)薄衣電解工業 | 西谷 重夫 | 神奈川    | 全鍍連 | 高度なはんだ付けが可能となるめっき技能や難めっき素材へのめっき技能に卓越し、近年の我が国の電気・電子部品の高度化に著しく貢献した。また数多くの同業他社のめっきトラブル対応や排水処理の不具合等に関し、永年にわたり献身的に相談に応じ提言を行うなど、ノウハウの伝承等後進技能者の育成に著しく貢献した。   |
| 平成25年度 | (株)ケディカ   | 松原 正道 | 東北・北海道 | 宮城県 | 39年間にわたり、めっき工として勤め、生産技術、環境管理、難素材への表面処理等の高い技能を習得した。アルミ、亜鉛ダイカスト材表面の化学研磨は、通常は研磨作業中に発生する熱のため頻繁に作業を中断しなければならないが、同氏は発熱せず化学研磨を行える化学研磨剤を開発し、他にはない独自の技術として使用している。また、半導体BGA、CSPに使用する微細球(直径○・七mm)への四層めっきの技術を確立し、従来は極少量しか生産できなかった粉末のめっき処理の量産を可能にした。 |
| 平成24年度 | (株)九州電化   | 中野 寛文 | 九州     | 全鍍連 | 電気・電子機器や半導体製造機器の電気めっき加工に長年従事し、特に複雑かつ微細な数ミリ単位のめっき加工並びに数百万個の微細めっき加工に対し不良品を発生させない卓越しためっき技能と高度な品質管理を有している。この技能を伝承させるため、個々に合わせた訓練計画を立案し検証を行いながら幅広く指導を行うなど、業界内の後継者の育成にも積極的に貢献している。  |
| 平成23年度 | (有)三貴工業   | 佐藤 寿訓 | 愛知     | 全鍍連 | 電気めっき技能、特に複雑形状や微細部品のめっき技能に卓越し、開発した処理法により、医療機器、自動車、電気・電子機器等の品質及び機能性の向上を飛躍的に実現した。また、長年にわたり技能検定事業の推進への貢献され、後進技能者の育成・指導に大きく貢献した。  |
| 平成23年度 | (株)太洋工作所  | 西村 省一 | 大阪     | 表協  | めっきに関する生産技術、めっき液の改善、排水処理管工程の管理等において卓越した技能を有している。最近ではプリント基板の業界最高クラスのファインピッチ配線パターンへの無電解めっきに成功するなどプリント基板業界の発展に貢献するとともに、製造現場においては後進への指導・教育を実践し、多くの技能者を育て上げるなど、人材の育成に貢献している。   |

| 年度     | 会社名         | 氏名    | 組合 | 推薦  | 功績  |
|--------|-------------|-------|----|-----|---|
| 平成23年度 | 宇都宮タマル工業(株) | 林 直昭  | 栃木 | 栃木県 | 全国めっき技術コンクールにおいて全国で唯一3部門全てにおいて厚生労働大臣賞受賞を果たすなど、卓越した技能を有している。特に、梨地装飾クロムめっき、梨地硬質クロムめっき並びに難形状素材・めっき難素材へのめっきに卓越した技能を有し、精密測定機器、医療分野、メカトロニクス分野の発展に多大な貢献を果たした。また社内外において後進の育成にも尽力している。 |
| 平成22年度 | 光陽鍍金(株)     | 菊池 忠男 | 東京 | 全鍍連 | 電気めっき技能、特に複雑形状や難素材の部品へのめっき技能並びに亜鉛めっき技能等に卓越し、開発した処理法により、自動車、電気電子機器等の品質及び耐久性向上を実現するとともに、後進技能者の育成に大きく貢献した。   |
| 平成21年度 | 名古屋メッキ工業(株) | 菅沼 延之 | 愛知 | 全鍍連 | 電気めっき技能、特に化学繊維へのめっき技能に卓越し、開発しためっき装置並びに処理方法により、電子・通信機器の電磁波遮断、自動車の軽量化、インフラの安全性に貢献した。また、後進技能者の育成に尽力している。   |
| 平成21年度 | オテック(株)     | 野中 康裕 | 大阪 | 表協  | 電気めっき技能、特に工業用クロムめっき皮膜の改善や改良などのめっき技能に卓越し、アモルファスクロムめっきの工業化にも貢献した。また、技術の継承と有能な若手技能者の育成に尽力している。   |
| 平成20年度 | 鈴木鍍金工業(株)   | 鈴木 泰造 | 愛知 | 全鍍連 | 電気めっき技能、特に、複雑な形状部品に対応した亜鉛めっき技能に優れており、自動車のエレクトロニクス化の進展に貢献している。また、後進技能者の育成・指導にも貢献している。  |
| 平成19年度 | (有)池澤鍍金工業所  | 高岡 彰次 | 埼玉 | 全鍍連 | 電気めっき技能、特に複雑形状や難素材の部品へのめっき技能並びに亜鉛めっきの三価クロム化成皮膜処理の技能等に卓越し、開発した処理法により自動車、電気・電子機器等の品質及び耐久性向上を実現するとともに、後進技能者の育成に大きく貢献している。  |

| 年度     | 会社名        | 氏名    | 組合 | 推薦  | 功績  |
|--------|------------|-------|----|-----|---|
| 平成19年度 | (株)ヒキフネ    | 石川 進造 | 東京 | 表協  | 長年めっき技能者として従事し、数々の新製品の開発・発明に尽力する。特に電鍍技術による宝飾品などの製造や種々の素材へのめっき技能と精密印刷技術との融合化を図った高級装飾めっき技能に卓越している。さらにガラスやシリコン、光ファイバーやロウなど、一般的に困難であると言われる非金属材料へのめっき技能や、電鍍技能並びに複雑繊細な形状素材に均一な膜厚のめっき皮膜を施す技能等により産業界や社会に貢献している。 |
| 平成19年度 | (株)イースタン   | 石山 勉  | 長野 | 長野県 | 半導体パッケージ用極薄プリント配線板に用いるソルダーレジスト(絶縁塗料)の塗布方法及び露光・現像に関する技能に卓越している。また、職場のリーダーとして中堅・若手技能者の育成に積極的に取り組んでいる。   |
| 平成18年度 | 丸長鍍金(株)    | 浅田 孝  | 静岡 | 全鍍連 | 電気めっき技能、特にアルミ合金素材へのめっき技能、電鍍の技能並びに、複雑形状素材に均一な膜厚のめっき皮膜を施す技能等に卓越し、開発した処理法により、電気・電子機器、医療機器等の高性能化を実現するとともに、後進技能者の育成に大きく貢献した。   |
| 平成18年度 | (株)東電工舎    | 山田英佐夫 | 東京 | 東京都 | 難めっき製品へ均一な厚さに「電気めっき」可能な技術を確立。外観・耐食性対摩耗性の優れた製品を仕上げる技能を有している。また、FAシステムを開発、多品種少量生産の自動化を実現し、コストダウンを図るなど、業界の先駆けとなり業界の発展に貢献した。  |
| 平成18年度 | 伊藤工業(株)    | 松田 勝彦 | 愛知 | 愛知県 | 自動車部品の亜鉛めっき加工に関する技能に卓越し、皮膜処理剤・光沢剤の研究開発、三価クロメート製品の品質確保と量産化を実現した他、幾多の考案・改善を行い、生産効率の増進、安全確保に寄与するとともに後進指導者育成に貢献した。  |
| 平成17年度 | 高知精工メッキ(株) | 神田 三男 | 四国 | 高知県 | 昭和36年以来、43年間にわたり電気めっき加工に従事している。3価クロムめっきや鉛レスはんだめっきの技術の開発に意欲的に取り組み、新技術の開発、量産化に成功するなど優れた技術を有している。また、後進の育成にも尽力し、業界の発展に貢献している。   |

| 年度     | 会社名        | 氏名    | 組合 | 推薦  | 功績   |
|--------|------------|-------|----|-----|--|
| 平成17年度 | (株)ケディカ    | 菱沼 富男 | 東北 | 表協  | 長年にわたり、各種電気めっきの性能向上並びに環境保全技術の向上に努め、また、自企業のみならず他企業の技能者育成にも尽力する等、業界の発展に大きく貢献した。更にアルミニウムの二次電解では、同技術が今後各業界で取り入れられ、産業界の発展に大きく寄与することが期待されている。また、社内にあっては同技術の継承と有能な若手技能者の育成に努めた。 |
| 平成17年度 | (株)三ツ矢     | 小澤 茂男 | 東京 | 個人  | 電気めっきを必要とする電子部品のめっき加工分野で、取引先が要求する100分の1ミリ単位の部分めっきや、めっきにより機能向上を図る高度な加工に対応する技術や加工法を開発し、規格・標準化して作業担当者が処理上の過誤を生じないようにする工程や装置を開発する等多大なる貢献をした。                                 |
| 平成16年度 | 中国電化工業(株)  | 八木 英紀 | 山口 | 全鍍連 | 電気めっき技能、特にセラミックス、マグネシウム及びチタン素材へのめっき技能並びに電解研磨技能等に卓越し、開発した処理法により電子機器、半導体製造装置等の飛躍的な高性能化を実現するとともに、後進技能者の育成に大きく貢献した。  |
| 平成16年度 | 高木金属(株)    | 高木 正光 | 京都 | 京都府 | 主に神仏金具、美術工芸品の製造において、めっき皮膜数ミリ単位の超厚付電気めっき加工を行う電鍍加工に優れた技能を有し、金銀めっき加工では約二十三種類の古代色の表現に成功、電導性のない強化プラスチック製大型製品へのめっき加工技術の開発等、業界の第一人者である。   |
| 平成15年度 | 三和鍍金工業(株)  | 四辻 兆盛 | 大阪 | 全鍍連 | 電気めっき技能、特に装飾ニッケルクロムめっき、亜鉛ダイキャスト製品への銅めっき技能に卓越し、試作・実験により実用化した装置を用いて高品位の外観及び高耐食性を有し、省資源のめっき工法を確立した。   |
| 平成14年度 | (有)伊藤鍍金工業所 | 伊藤 賢一 | 愛知 | 全鍍連 | 電気めっき技能、特に亜鉛めっき、バレルめっき及びダイキャスト素材へのめっき技能に卓越し、自ら考案・改良した装置により自動車部品等への精密かつ極めて耐久性の高い工法を確立し、その量産化を実現した。  |



| 年度     | 会社名         | 氏名    | 組合  | 推薦  | 功績   |
|--------|-------------|-------|-----|-----|--|
| 平成14年度 | 硬化クローム工業(株) | 川村 壽  | 東京  | 表協  | 長年に亘り、工業用クロムめっきおよびニッケル合金めっきの性能向上並びに技能の向上に努め、電気めっきとして極めて過酷な環境で使用される製鉄の連続鑄造用鑄型のめっき技術の改善に大きな成果をあげ、製鉄業の発展に大きく貢献した。     |
| 平成13年度 | (株)スミノ      | 宮城 博行 | 大阪  | 全鍍連 | 電気めっき技能、特にバレルめっき及びすずめっきの技能に優れ、自ら考案した装置による電子部品等への高品質で生産効率の良いめっき工法の確立、非シアン亜鉛めっき法の工業化を行うとともに、後進技能者の育成に貢献した。           |
| 平成13年度 | 電化皮膜工業(株)   | 東城 信  | 東京  | 表協  | 硬質アルマイト処理技術の品質向上と標準化へ寄与し、硬質処理の困難な鑄造品の処理法の開発と工業化、又陽極酸化処理に伴う製品の加工精度の低下を少なくし品質を安定化させる処理法を考案、工業化し、高精度陽極酸化処理技能を定着化した。   |
| 平成12年度 | (有)サンルミナス   | 西垣 務  | 愛知  | 全鍍連 | 電気めっき工として長年従事し、古美仕上げめっきに優れ、建造物の修復、美術工芸品及び装飾品等のめっき加工を数多く手掛けた。また、自ら考案しためっき装置により、電子部品への超高精度かつ均1なめっき技法を確立し、その量産化に貢献した。 |
| 平成11年度 | オーエム工業(株)   | 岡本 修  | 岡山  | 全鍍連 | 装飾クロムめっき加工に優れ、青酸不使用のめっき加工技術の実用化、無排水めっき工法の確立に努めた。また、社内外の後進の育成に努めた。  |
| 平成11年度 | (株)山王       | 星野 正男 | 神奈川 | 表協  | コネクタ、スイッチ類の金属めっきに優れ、超精密部分へのめっきについては治具を開発する等技術改善に貢献するとともに、後進の育成に努めた。  |

| 年度     | 会社名         | 氏名    | 組合 | 推薦  | 功績   |
|--------|-------------|-------|----|-----|--|
| 平成10年度 | 中西京美堂       | 中西 健吾 | 京都 | 全鍍連 | 金めっき、古美仕上げめっき、いぶし銀めっき等の伝統的装飾めっき技能に卓越し、神仏具類の装飾金具のめっき加工並びに国宝級の神社仏閣及びその収蔵品の修復に従事し、伝統技法の継承・発展並びに文化遺産の保護に貢献した。  |
| 平成10年度 | 森島電化工業(株)   | 磯部 剛  | 愛知 | 愛知県 | 電気めっき技能、特に袋ナット及びステンレスパイプのニッケルクロムめっきの技能に優れ、高精度で高品質のめっき袋ナットの量産化、めっき処理のための溶接技法の開発に努めるなど生産性の向上と業界の発展に寄与した。     |
| 平成10年度 | スズキハイテック(株) | 会田 耕三 | 山形 | 表協  | 長年にわたり、めっき技能の研鑽に努め、ニッケルクロムや亜鉛めっき等の技能改善と品質向上に貢献し、機械や電子部品への機能めっきでも卓越した技能を発揮してその品質向上に寄与した。                    |
| 平成9年度  | 三和鍍金(株)     | 武藤 岩雄 | 群馬 | 群馬県 | 長年にわたり電気めっき業務に従事するなかで、特に、ニッケルめっきの工程を省く直クロムめっき法の開発を行い、生産性、品質の向上や省資源化等に寄与するとともに、技能検定等を通じて、後進技能者の指導育成に尽力した。   |
| 平成8年度  | 簗寿鍍金工業所     | 前川 浩一 | 愛知 | 全鍍連 | 電気めっき技能、特に細管めっきの技術に優れ、細管内沈殿物の沈積防除により、高品質の細管めっきの量産化、高速処理ノーシアン亜鉛めっき浴の開発に努めるなど、生産性の向上に寄与するとともに、後進技能者の育成に貢献した。 |
| 平成8年度  | 小松原鍍金工場     | 小松原秀元 | 埼玉 | 表協  | 電気めっき業務に長年従事し、めっき液組成、電流条件、前処理研磨の研究・改良を行い、密着性等に優れた銅めっき加工、耐熱性等に優れたニッケルクロムめっき加工に高い技能を発揮し、製品の品質・生産性の向上に貢献した。   |

| 年度     | 会社名               | 氏名    | 組合 | 推薦  | 功績   |
|--------|-------------------|-------|----|-----|--|
| 平成7年度  | (資)齋藤メッキ工業社       | 齋藤 幸彦 | 宮城 | 宮城県 | めっき技能のなかで、とくにブロンズ処理において、独自のめっき液の考案、仕上げ工程での均一性を保つ工夫等処理方法の改善・向上に貢献するとともに、技能検定等を通じて、後進技能者の育成に寄与した。                                    |
| 平成5年度  | (有)石黒鍍金工業所        | 石黒 勇  | 愛知 | 愛知県 | めっきの技能に卓越し、めっき条件・めっき装置を改善することにより、光沢銅めっきの手法を開発して装飾めっきにおける研磨工程を廃止することに成功し、また銅古美術手法において研磨方法を手作業からバフ研磨による方法を改善するとともに、後進技能者の指導・育成に貢献した。 |
| 平成3年度  | 新日本製鐵(株)八幡製鐵所     | 中山 喬薫 | -  | 福岡県 | 電気めっきの技能、特に電気亜鉛めっきの技術に卓越し、画期的めっき法と言われる電気合金めっき法による自動車用防錆鋼板の開発に際し、操作上の諸問題を改善するなど幾多の考案・改善を行い、品質・生産能率の向上に寄与するとともに、後進技能者の指導・育成に貢献した。    |
| 平成2年度  | 三協アルミニウム工業(株)新湊工場 | 前馬 行雄 | -  | 富山県 | アルミサッシの表面処理の技能に卓越し、縦吊式表面処理用被処理物ラッキング方法及びその装置の開発等により、幾多の特許・実用新案を取得するなど、大量生産・品質の安定化・大幅な工数削減を可能とし、業界の発展に寄与するとともに、後進技能者の指導・育成に貢献した。    |
| 平成2年度  | (株)アクトメタル         | 小野江 隆 | 愛知 | 愛知県 | 電気めっきの技能、特に亜鉛めっき、ニッケルめっきの技能に卓越し、防錆効果の優れた二重ニッケルめっき、ノーシアン高速亜鉛めっき浴等の開発・工業化に努めるなど、生産能率の増進等に寄与するとともに、後進技能者の指導・育成に貢献した。                  |
| 昭和49年度 | 富士電機製造(株)松本工場     | 永澤 喜雄 | -  | 長野県 | 電気メッキの技能に卓越し、半導体素子用メッキの技法を考案開発するとともに、後進技能者を指導育成した。   |

| 年度     | 会社名             | 氏名    | 組合  | 推薦   | 功績  |
|--------|-----------------|-------|-----|------|---|
| 昭和48年度 | 横浜プレシジョン<br>(株) | 植村 彦治 | 神奈川 | 神奈川県 | 電気めっき作業、特に羽布加工の技能に卓越し、自動研磨機等を考案するとともに、後進の育成にあたった。 |
| 昭和42年度 | 中国電化工業(株)       | 東 康雄  | 山口  | 山口県  | 電気めっきの技能に優れ、設備の近代化等に貢献し、後進技能者を育てた。                |